

足柄ロータリークラブ週報

ASHIGARA R.C. WEEKLY BULLETIN
DISTRICT NO.2780 KANAGAWA JAPAN



第 698 回 例会日：毎週金曜日 12:30～13:30
2004 会 場：南足柄市共学館
10月15日 南足柄市関本 407
晴れ 事務所：足柄上商工会
南足柄市 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 2063-2
共学館 TEL 0465-83-3211 / FAX83-3213

会長・加藤 正人；副会長・三浦 優；幹事・荻野 哲夫；会報委員長・飛弾 康則

2004～2005年度

ロータリーを祝おう

R I 会長 グレン E. エステス・シニア

点 鐘 加藤 正人 会 長
司 会 関野五十二 副幹事
育 唱 手に手つないで

10月29日 クラブフォーラム
11月5日 ガバナー公式訪問
12日 出席委員会 卓話
19日 I T 委員会 卓話

出席委員会		小山 勉 委員長		
	本 日	前 回	前々回	
会 員 数	45	45	45	45
対象会員数	43	43	43	43
出 席	36	37	33	33
出 席 率	83.72%	86.05%	76.74%	
メークアップ	0	0	3	
計	36	37	36	
修正出席率	83.72%	86.05%	83.72%	

事前メークアップ者

無し

欠席者

園田欣也君 三浦優君 井上勝典君
大立目敬一君 加藤誠一君 武井一利君
曾我和久君

前回欠席者 10月8日 印メークアップ済

園田欣也君 飯田宗仁君 井上勝典君
大立目敬一君 加藤誠一君 草柳源治君

前々回欠席者 10月1日 印メークアップ済

園田欣也君 三浦優君 井上勝典君
柿沼泰信君 加藤誠一君 鍵和田宏君
武井一利君 飛弾康則君 住澤勝美君
曾我和久君

ビジター

小野隆夫君 (小田原北 R C)

慶事祝福

会員誕生日

荻野哲夫君 10月17日
結婚記念日
石井一成君 10月18日
山本雄介君 10月20日
奥様誕生日

斉藤誠司郎会員令夫人順子様 10月15日
奥津紀一会員令夫人邦子様 10月20日

会長の時間 加藤 正人 会長

1. 上陸した台風では、東日本最大級の台風 2 号は、今年 9 個目の上陸と上陸記録の塗り替えと、各地に大きな被害が発生しました。

2. 小田原 R C が創立 50 周年の記念例会が昨日 14 日に湯本富士屋ホテルで行われ、私と幹事で出席してまいりました。小田原 R C は、1954 年 (S29 年) 10 月 14 日に日本では 144 番目に国際 R C に認証されました。県下 5 番目、2780 地区 3 番目の R C です。変わったところでは 50 年の歩みを DVD にしてあるということです。

3. 11 月 5 日は公式訪問例会です。

以下の予定で進行します。

11:00-12:10 会長幹事と副会長との会談

12:30-13:00 例会

13:00-13:30 ガバナー卓話

13:30-14:30 ガバナーと懇談

4. 先日読んだ本の中に面白いものがありましたのでご紹介します。

題名は「最後は人」というもので、日本経済新聞社が行った調査の結果従業員の能力向上に取り組む企業が収益力で上位に名を連ねている中でヨドバシカメラを取り上げています。質の高い接客を掲げ、若い正社員を鍛えてデジタル化と商品サイクルの早さに対応するとともに、挨拶や返事のいわゆる基本動作を身につけさせているということです。企業では経費節減のためパート労働に頼りがちになりますが、正社員をキチンと鍛えて売り上げを伸ばしている企業があるということですので皆さんもご参考にさせていただけたらと思います。

幹事報告 荻野 哲夫 幹事

インターアクト年次大会登録のお願いということでガバナーより連絡が来ております。

ホスト 湘南学院高等学校

インターアクトクラブ

日 時 2004年11月23日(祝)9:00~

場 所 湘南学院高等学校東棟5階

横須賀市日の出町3-3

ニコニコ箱委員会 勝又 辰美 委員長

小野隆夫君(小田原北RC)

久しぶりにメイクアップをさせていただきます。どうぞよろしく。

小林哲雄君

議会報告第22号お読み下さい。

千村憲一君

忘年会のシーズンになりました。チラシをメールボックスに入れさせてもらいました。宜しくお願いします。又、来週は欠席しますのでよろしく!

奥津紀一君

妻の誕生日祝いありがとうございます。

加藤嘉宏君

娘の結婚祝いありがとうございました。お陰様で鎌倉プリンスで挙式させていただきました。皆様に感謝して。

石井一成君

結婚祝ありがとうございます。今日は失礼いたします。

斉藤誠司郎君

妻の誕生日祝いのお花が今朝届きました。ありがとうございます。又、いよいよゴルフのトップシーズン到来を感じさせる今日のすがすがしい秋晴れに感謝して。

高部伸一君

前川さん仕事忘れていてすみませんでした。P.S. 勝又委員長お久しぶりです。

山田純一君

山地さんギンナンありがとうございました。

全部看護婦さんにとられてしまいました。

荻野哲夫君

誕生祝いありがとうございました。

山本雄介君

2度目の結婚祝いありがとうございます。

ゴルファーより(関野五十二君)

昨日焼肉屋さんで6人で飲食した余剰金です。本当に少ないけど・・・。エッ380円??

勝又辰美君

男は黙って金を出す。

事務局

先週の土日、三浦さんと一緒に群馬の白根山へ登ってきました。みごとな紅葉と三浦ご夫妻の仲睦まじさに終始あてられっぱなしでした。とても楽しかったです。ちなみに奥様の口癖は“たいしたもんだ”です。まれに見る美しい紅葉でした。

事務局

会場監督さん今日は早くから会場の準備ありがとうございます。

河野委員長、私は全然怒っていませんヨ。先週はちょっとしたご注意です。ネー下田さん。

本日のご芳志 計 33,880円

委員会報告

地区青少年交換委員会 前川徳男委員長

地区青少年交換委員会より、現況報告とお願いをさせていただきます。

【現況報告】

2003~2004年度の地区での交換学生は次の通りです。

国 別	派遣学生	受入学生
オーストラリア	4名	3名
カナダ	1名	1名
ロシア	1名	1名
韓国	1名	1名
ブラジル	1名	1名
アメリカ	2名	2名
イギリス		1名
合計	10名	10名

殆どの学生は、問題なく生活していますが、1部フォローが必要な学生もいます。

【2005~2006年度交換学生の募集】

現在各クラブ毎に交換学生の募集を行っています。足柄クラブでも会員のお子さんや、お知り合いの方で適任者がいましたら、是非ご推薦してください。

締め切りは10月29日です。

今年から選考方法の一部が変更され、英語、一般常識(国語、社会、に数学が加えられました)

作文、面接、となります。
テストの予定は 筆記試験 12月4日
面接試験 12月5日です。

お願い
足柄クラブの会員の皆さんご推薦をよろしくお
願いします。

卓話者紹介

ロータリー財団委員会 湯川嘉幸委員長

皆さん今日は、ロータリー財団の卓話という事
で、委員の山本和夫君と色々ききやくの話を練
ったのですが、中々あれもこれもという事で、
年一回の卓話の持分しかないものですから貴重
な時間を持ちたいと思ひまして色々考えまし
たが、私は充実した人生の経験豊富な山本和夫
君に卓話をお願いして、そして、今日の演題で
あります「ユーモアとジョーク」が我々の人生
経験に少しでもお役に立てばと思ひまして、今
日の卓話をお願いしました。どうぞ宜しくお願
い致します。

卓話

演題「ユーモアとジョーク」について 山本和夫君



皆さん今日は、今、湯川君から礼礼しい紹介を
頂きまして、皆さんのお顔が何だかばかに偉く
見えてしまつて心臓がちよつとバクバクしてい
ます。今日はちよつと勝手な事を申し上げるか
も知れませんが、考え様によっては私がお話す
るにあたり、丁度居眠りするには良い機会だ
と思つて頂いてどうぞ遠慮なしに居眠りして下
さい。これも健康のためには良い事かも知れま
せん

ある時女学生の仲間の集まりで写真を取ろう
とした、皆はVの形で写真を撮る中で一人が先
生どうぞ中に入って先生は思はずつられて中に

入る、すると別の生徒が「先生ニブイ」先生は
何を言っているのか解らずに「俺はニブイのか
な?」とまともに取つた。ニブイというのはV
が二つ。両方の手でVを 作ることを先生に言
っているのに先生はまともに取り、自分の頭が鈍
いのかと思ひ、「を冷やかしているのか」と思
いながら「そうじゃないんだVが二つだよ」と
言われて「アッそうか」ということで一同大笑
いしておかげで、大変自然の笑いの写真が取れ
た。これはひとつの意外性を伴つたユーモア
いうんでしょうね、私もロータリーに入り何年か
経ちますが、色々な活動をする中で大事な事は、
より良いお互いの人間関係が基本であると思
ひます。そういうものを保ちながらやっていく
ことが大切です。人間関係を滑らかに人生面白
くという事でしょう。この世知辛い世の中、ユ
ーモア・ジョークを連発し和ませることは非常
に良い事だと私はいつも考えております。よく
思ひ出すんですけど、会社が引け赤提灯に行き
飲めば必ず上司の悪口を言う、それが精々で
す。そうじゃなくて皆がユーモアで色々なジョ
ークを連発して和んでかういうことで千円の
会費が二千元、三千元の価値が出るということ
だろうと私はおもいます。皆さんも、お気づ
きだともおもいますが、政界でもそういう場
面があるでしょう。もう論理なんかそつちの
けで相手をやっつけてやれというのが先行す
る議会のやり取りをよくテレビでご覧になつ
と思ひますけども、これは決して相手を説得
すると言うのではなくて自分の票を増やすと
言うのでしょうか、それが目的みたいに受け
取れるようなやりとりが尨ある。テレビを見
ていて決してそれはいい感じはしないと私は
思ひます。ユーモアを理解してジョークを飛
ばす人というのは知性の高い人、こう見て良
いでしょう。しかし、一口にユーモアと言つ
ても色々な種類があるわけです。たとえば昔
の話ですが昭和24~5年でしょうか松永安
左衛門という茶人でも有名な非常に頑固な
方、この人が国の政策で電力の供給をスム
ーズにしなければ産業復興にならない、とい
うことで広域事業委員会というものを作られ
た。その委員長を松永さんがお勤めになつた
。何とかしてこの電力の供給をスムーズにし
なければいけないということが産業復興の元
だということであつた。当時の松永さんの苦
労が今の産業の基礎を作つたと言つても過言
ではないとおもいます。松永さんが広域事業
委員会これは通商産業委員会というのが担
当したが、この委員会へ突然電力料金を7割
り上げると言うことを宣言した。さあ大変、
与野党がこのインフレのさなかに7

割上げるとは何事かと大変な騒ぎになった、私もたまたま一番後ろのほうに居てその状況を見ていたのですが「何を松永言うんだ」と大騒ぎになりその時松永さんはじっとこらえて「まあ、皆さん聞いて下さい。人間牛乳を飲みたかったら牛に餌をやれ」この一言「以上終わり」こういう答弁をした、さあ聞いている人も呆気に取られてそのおかげで7割の料金値上げはスムーズに国会を通過してしまった、ということ、がこれは歴史的な事実ですそういう事もありました。これはもう何と云うのでしょうかね、逆襲のユーモアと言うんでしょうか、そういうこともあります。ユーモアという物は良い方向にも、悪い方向にも使える、松永さんの逆襲のユーモアというのは非常に良いユーモアだと私は今でも思い出しています。逆襲のユーモアと言えば同じ時代の事ですがワンマン首相として名を残した吉田茂総理大臣が居ました。この人はそれこそ頑固物でユーモアの名人、数々のユーモアを後世に残しています。吉田といえば「バカヤロウ」解散などでマスコミにこっぴどく批判されました。投票に行くときは白足袋に草履で行ったり、大磯から東京へ通うためにワンマン道路を作ったりとか、型破りのエピソードにはこれまた事かきません。この人が自民党総裁として総選挙で、横浜駅前演説をした時、寒い日なので外套を着たままマイクを握った途端、聴衆の中から声が上がった。「失礼だぞ、外套ぐらい脱げ」この時吉田さんはどう対応したかという野次の飛んだ方へおもむくに顔を向けるとニヤリと答えた。私も何を言うのか気を揉んだ。「これが本当のタイトウ演説だ！」と聴衆はこれでドット湧きました。そして俄然親しみを抱いて演説を聴いてくれた。演説は大成功でした。この様にたった一つのダジャレで聴衆を引きつけたわけです。これを私はサービスユーモアとも言いたい。又、このようなとっさにやり返すあたり吉田ワンマンの英国仕込みの才覚とでも言うのでしょうか、同時に吉田自身どこか愛すべき茶目っ気というものを常に潜ませていた人柄であったればこそ、口を付いて出た物でしょう。英国仕込みといえば吉田さんが亡くなる前の年位に、英国のエリザベス女王が日本にみえた際、明日帰るといふ日に、大磯の吉田邸に挨拶にみえられたその時、吉田さんは女王に「日本は如何でした」と尋ねた。すると女王は「大変良い国で楽しかったです。ただ一つの残念な事があります」「それは何ですか」と吉田さんが聞くと女王が「実は新幹線で京都を往復したけれども、とうとう富士山を見る事が出来な

った事が残念です。心残りはそれだけです」と答えた。するとすかさず吉田ワンマンは何を言ったかといひますと「ああ、それは当然でしょう。富士山というのは八二カミ屋で自分より綺麗な人が来ると、そおーっとペールを引いて隠れてしまいます。それが富士山なのです」そう言うで大変エリザベス女王は喜んでくれました。これで吉田さんとしては女王に最高のお土産を差し上げたという結果になったと思います。そう言う面白い格調のあるユーモアを吉田さんという人は持っています。まさかエリザベス女王から富士山の話が出るとは思ってもいなかった。出た途端にポッとやり返す、こういう所に人間の付き合いのよしみというか、高度な付き合いが出来る、こういうふうには私は思います。又、吉田さんにちなんだ話ですが、開成町に瀬戸屋敷というのが在りますが、戦争中、原田熊夫という外交を専門にしていた男爵という人が疎開していました。先日、間宮氏の案内で行って来ました。「大東亜戦争を止めなければ日本が潰れる」と原田氏と吉田氏は非常に心配していた気の合った外交官同士でした。これが憲兵に漏れて、吉田さんは逮捕されてしまいました。原田さんは助かりました。終戦で吉田さんが釈放され帰って来て、皆さんが「良かったね」とお祝いに来て下さっても、戦後で皆さんに振舞うお酒もなかった時代、原田さんの所に行けば原田さんが酒を調達するルートを知っている事を知っていた吉田さんは「八月十八日に人寄せをするのに酒が無いので何とか貴殿において懇願奉り候」と手紙を書いて使いを送った。すると即座に「酒が手に入ったので取りに來い」と使いが来た。それを頂いて御代を支払おうとすると「それは要りません」と受け取らなかったのも、又、吉田さんが「酒を工面して頂けるだけでも大変有難いにおまけにお金を取ってこないなんてこんな有難い事は無い又、ついでの際には頼みます」という手紙をだした。これが吉田記念館の吉田茂書簡集に載っています。私はその酒の元は瀬戸の酒屋さんだと思いその手紙をコピーして瀬戸さきおさんにそれを見せたところ、「その酒は家の酒だ」と言い「手紙のコピーを家の宝にする」と言った。この近場にもそういったユーモアに関する話がありました。又、大井町に坂井ツネというもう亡くなられた生物学者の方がおられました。昭和天皇の師匠のような人で、葉山の御用邸であの周りの海産物を採って説明をしたりする仲でした。非常に陛下も信頼してご自分の勉強の唯一の相手でした。ある大臣が色々陛下に奏上するも、いくら大

臣でも陛下が何を聞くか判らない。それに100%明解に答えられない場合もあります。大臣は答えられなかったので「後でご報告申し上げます」これで終わる物かと大臣は思い「陛下お尋ねしますが、坂井ツネという方をご存知ですか」と言うと陛下は「うん、それがどうした」「実は私の同窓で郷里も同じです」と言ったところ陛下は俄然顔色が変わり大きな声で「ああ～そお」と言い大変喜んだ。これはプレゼントのユーモアとい事でしょうね。そういう事でついでに申し上げますと、その方が亡くなられた時に悲しんで追悼の和歌を作って坂井家に報告した。それが今、大井町の公民館に掲げられています。私には難しくて読んだ事が無いので分かりませんが、そういう意味の追悼の仲だった、だから陛下が「ああ～そお」と書簡事項などそっちのけで大変陛下が喜んだ、これも一つのユーモアと解釈している。そういう事を陛下は謹厳そのものの人だけれども陛下はざっくばらんになる昭和天皇でした。

又、吉田さんの話になりますけど、湯河原に牧野タケマという張作霖の参謀をしていた人が居られ、吉田さんも天津の総領事をやっていた交流がありました。戦後、昭和26～7年頃まだ酒の尊い頃、私はある日、吉田さんの所に使いに行ったときに酒を二本出され「牧野の所に持って行ってくれ」と頼まれました。バスに乗り電車に乗り牧野さんの所に行きましたら、牧野さんは「俺は吉田とは喧嘩をしていて絶交している、絶交している相手から酒をもらう筋合いは無い」と言われ私はそんな事は恐れ多くて総理には話せないで手紙を書いてもらい、その手紙と酒を持って総理の所に帰った。すると総理は「確かに牧野とは絶交中だ、しかし、あいつは貧乏しているからお客が来ても客に飲ませる酒も無い、それではお客も気の毒だ」という手紙を書いてもらい牧野さんに渡した、すると「そうか判った」と言った。私は大磯から湯河原まで二往復した。私はこれも一つのユーモアでお助けのユーモアとでも言うのですね、もともと牧野さんが快く受け取るでしょうが、牧野さんにも意地が有るでしょうから、それを受け取らせる技術、お前にやるんじゃない、来たお客が気の毒だからやるんだ受け取れという手紙をとっさに書いた事、これも私は大変なユーモアだと、今だに関心してその話を思い出す事がある。もう一つ吉田さんにちなんだ話ですが、大磯の国道から入ったところのお医者さんで、ある病院の先生ですが風をひいたりするとすぐ呼んで、ある日、吉田さんが竹の子御飯を食べて下痢を

して具合が悪くなり先生をよんだところ「総理どうしました」と医者が見かねたところ総理は「竹の子を食べて下痢をしてどうも共食いなんだよ」と言われ医者はその意味が判らず、又からかわれたと思っていても何を言われたか判らず一週間考えた。竹の子は藪になります、あなたはヤブだ、とこれを繋げようとしてとっさに「とも食いた」と一週間してやっとその意味が判り「総理ひどいことを言った」と言うと総理は「そうか判ったか」とせせら笑った。私はその病院の理事長に会う事があって、あの～先生こういう話があるんだけど「あいつ俺に黙ってると言ってる」と理事長大笑いしていましたけどね、そういうふうなとっさに出るユーモアこれは非常に人の気持ちを和ませる、これは親しみのユーモアとこういうふうになづけたらいいなと思っております。ユーモアが逆の場合もあります。ユーモアが使えない場合にとんでもない事になることもあります。池田勇人氏は、フランスに行った時に大統領からトランジスタラジオのセールスマンと揶揄され、(その頃は、トランジスタラジオは日本だけが作っていた)その時ムツとした表情が表れてしまった。外交の大失敗それを新聞に書かれ何で池田はあんな事にムツとしてそこでジョークの一つも飛ばさなかったんだ、とこういうジョークがあるじゃないか「このトランジスタラジオをたまには一つ買ってください」別荘に行くにも持っていったら良いだろう国際情勢にもっと敏感になりますよ、というくらい書いたらいいだろう、これが本当のセールスマンだと新聞に書かれたことがあります。外交にユーモアを使う失敗だった事にも繋がるとこういう事もございます。ただユーモアだけでは非常に影響を及ぼすところが大きいという事で、ユーモアの使い方によっては失敗することもある。その人の人柄が一番大事です。子供にもユーモアがある。子供がオネショして「オネショしちゃった」と言ったらお母さんは叱るでしょう、その時に、もし優秀な子供がいて「お母さん背中まで汗かいちゃった」と言ったらお母さんは叱るに叱れない、ユーモアで助かる事が有る。ユーモアというのは、その場とっさに出る、子供でも使える。お釈迦様は「人を見て法を説け」と弟子におっしゃった。こういう事に繋がるのかなということですね。中国の毛沢東は「ユーモアとは教養だ、ユーモアの無い日は淋しい」という言葉を毛沢東は残している。どうせ人間楽しく、人の気持ちを癒す、これはやはりユーモアとは非常に大事なものだと感じております。